

寒工高改築工事かわら版

工事についてお気づきの点がありましたら、右記にご連絡ください。

第28号



先月の大雨で県内でも甚大な被害を受けた地域があり、一日でも早い復旧を願うばかりです。また、お盆休み中にもありました、ゲリラ豪雨や台風などもあるため天気の情報には気を付けたいと思います。

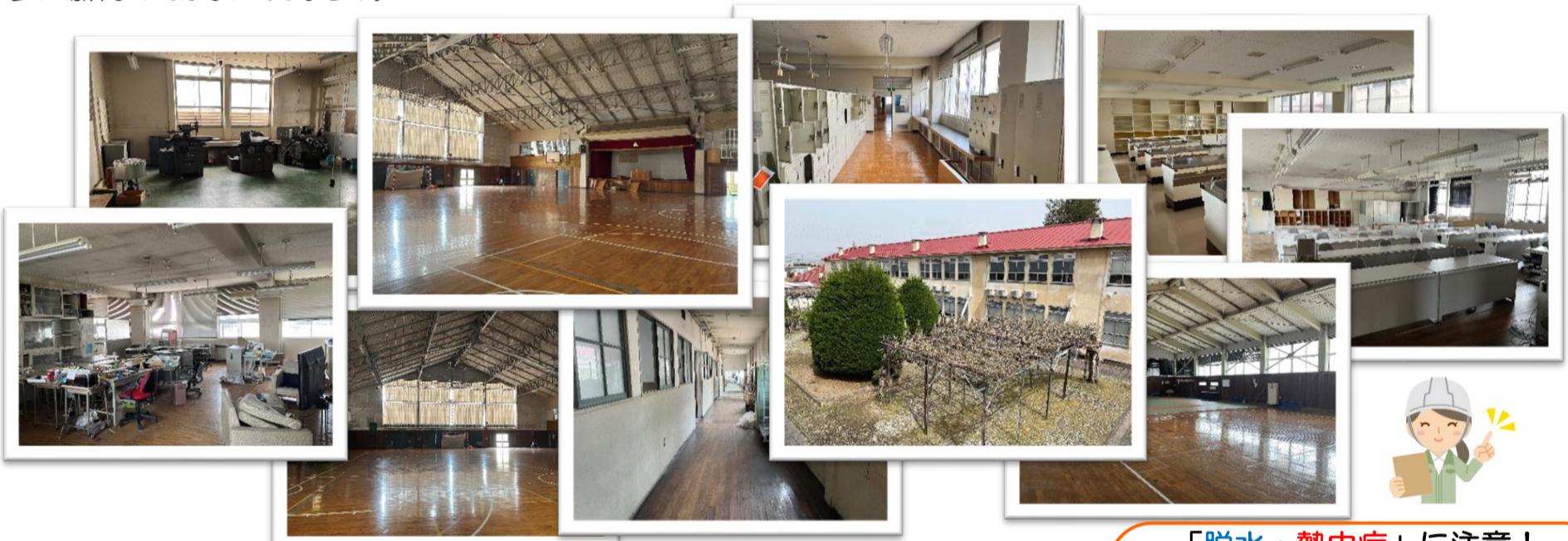
さて、現場の方は、内装材の解体に目途がつき、来月中には内部解体が完了出来そうだと見えています。躯体と基礎の解体も順調で、真ん中の棟から順に進めています。暑い中での作業なので、各作業員さんには熱中症に注意して、無理をしないで作業に当たってほしいと思います。

解体による騒音や振動、また、解体材搬出の大型車両の出入りが続きますが、安全に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

(左写真) R6.7.26南側上空より

◆旧校舎の思い出グラフィティ

解体前に撮影した旧校舎の写真をお届けします。教室や実習棟のほかにも、体育館や武道館、また中庭なども仲間たちと過ごした思い出が多い場所なのではないでしょうか。



◆台風シーズン突入

昨年のかわら版でもお知らせしましたが、7~10月は台風の発生数が多くなります。建物や側溝の点検をして台風による強風や大雨に備えましょう。



●屋外の点検

- ・側溝や雨樋にゴミや泥が詰まっている場合は清掃する
- ・窓や網戸を必要に応じて補強しておく
- ・軽いものは固定したり、移動しておく
- ・浸水しそうな場所は土のうを積んでおく



台風の強さ	
強さ	最大風速
猛烈な	54m/s以上
非常に強い	44m/s以上 54m/s未満
強い	33m/s以上 44m/s未満

「脱水・熱中症」に注意！
暑い日が多くなりました。体が暑さに慣れておらず、順応できなくなり、屋外、屋内を問わず、温度や湿度が高い環境下にいると、体内の水分塩分バランスが崩れて、体温調節機能が働かなくなってしまふ現れる症状を熱中症と言います。熱中症かも…と思ったら早めの対応をすることで重症化を防ぐことができます。

△熱中症が疑わしい人がいたら

- 涼しい場所へ
- からだを冷やす
- 水分補給



水分はとれるか？

意識はあるか？

自分で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！

8~9月の工事予定

- 8/継続
8/継続～
8/継続～

- 旧校舎内部解体工事
外部足場組立、環境配慮工事
上部躯体、基礎解体工事

※上記予定は、天候等によりズレが生じる場合があります。